



■あい・あい 今月のお勧めリフォーム ■

今月は、春らしく清潔感のあるフローリングです。
”ノンワックス”ですので、ワックスをかけなくても、長い間”ぴかぴか”です。
施工して喜ばれるフローリングをお勧めします。

床張替-高級フローリング(ノンワックス)

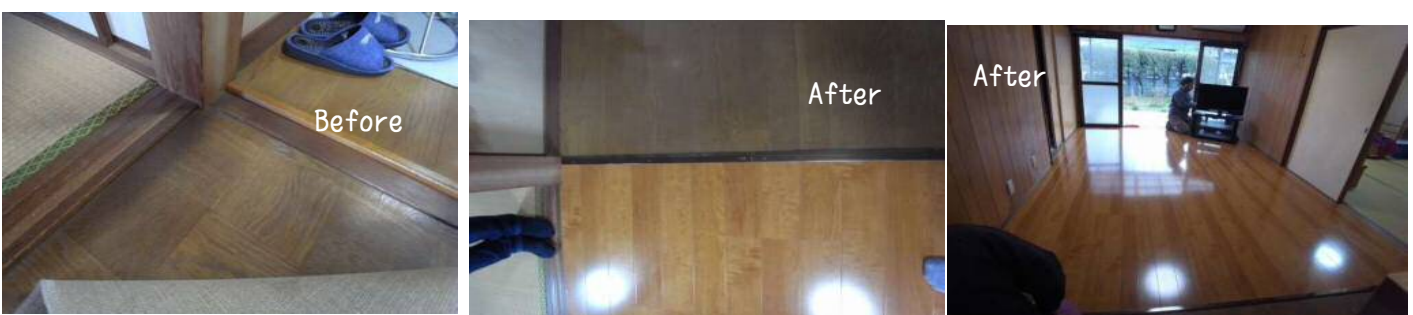


1帖/1.5万 → **1.3万** → 6帖/9万円 → **7.8万**

※6帖以上

”高級銘木フロア桜”

抗菌、鏡面塗装で、あらかじめ汚れをつきにくく、落とすやすく工夫した最高級のフローリング。
床は百年住宅に対応できる一番固くて耐久性のある樹種



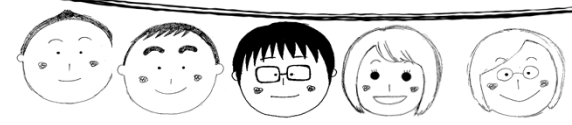
施工前：キッチン側は、以前床を貼り増しされており居間側と段差

施工後：一番段差が少なくなる方法で収めました。キッチン側との段差は解消され、両側の仕切りには金物を使用し、つまずきにくいように仕

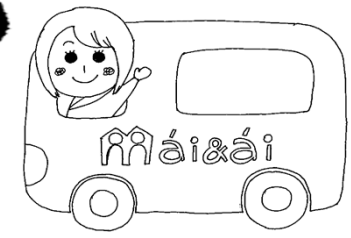
ワックス掛けが要らない、いつまでもきれいな床で気持ち良くなりますか？
今なら、ノンワックスの床の張替がお買い得。他に問題がなければ、78,000円ぽっきりです。
”花粉症”、”家ダニ”など、最近の怖い病気、清潔なフローリングにして、快適住環境をつくりましょう！



皆さま、節分はされましたか？家族の中で”鬼”はどなただったでしょうか？一般的にお父さんが鬼なのでしょうが、ほんとうは家の主が鬼退治のまめを撒く役だとか・・・。どうでしたか？



柳です。 櫻木です。 宮川です。 中村です。 下川です。



Curtain & Reform
ai&ai
〒841-0037 鳥栖市本町2丁目1442-3

0120 FreeDial **0120-85-4653**

FAX0942-83-3658 e-mail: info@fukuoka-saga-reform.com
http://www.i-ai.co.jp/ カーテンとリフォームのアイ&アイ 検索



カーテンとリフォームのあい&あい だより

発行日2015年 2号 no.25

2月 February



セツブンソウ

— 管理方法 —

節分の頃、凍ったような寒さのなか芽を出し花を開き春を告げる山野草。
夏は枯れて休眠期に入るため軒下の涼しいところで時々水を与えて管理します。

立春 (りっしゅん)

一番寒かた小寒の頃が過ぎ、立春も過ぎ少しは春の気配が忍び入ってくる季節。

ごあいさつ

こんにちは、ai&aiです。今月も、読んで頂きありがとうございます。近頃、寒い日が続きますが、皆様お変わりありませんか？仕事で日曜日に福岡市内に行ってきました。行きは道がすいていて、スイスイ行ったので日曜日よかったとルンルン気分でした。帰りは、大野城あたりから込みだして、「何で？」って思っていたら、大宰府の飛び梅でした。「そうか、梅か〜」。毎日同じ時間に会社に行って、仕事して、帰るってことを繰り返していると、季節の変化に気づくのがおこけてしまいます。なんだか置いてきぼりをされているようで、ちょっと焦りました。皆様、まだまだちょっと感じられないかもしれませんが、”春”はそこまで来ているのです。水仙の花もぐいっと背筋を伸ばして、ずいぶんと元気に立っています。春は待ち遠しいものです。水仙の花も、背筋をのばして、全身で春を感じて花開くのでしょうか。

皆様DIYってどうですか？ちまたでは、DIYが大流行しています。興味はおありでしょうか？この春、ai&aiは、お店をリニューアルする予定です。輸入壁紙とカーテンとリフォームのお店になります。参加型のショップ、毎月ワークショップを計画して、ご参加いただける参加型のお店の形にしていこうと予定しています。リニューアル中、何かとご迷惑をお掛けしますが、新しいお店がオープンしたら是非、一度はご参加下さい。オープンは4月末を予定しています。 よろしくお祈りします。

ハッピー住まいる！～本を上手に整理する～



長年暮らしていると、本の数も自然に増えていきます。整理をしながら、上手に収納しましょう。

◆本をきれいに収納しよう

本棚の中の本が斜めになったり、上に積み重ねたり、無造作に置くと雑然となってしまいます。本棚は常に見えるので、見せる収納としてきれいに収納しましょう。

・ジャンル別に分けよう

本屋さんのように、雑誌や小説、料理など、ジャンル別に分けて収納してみましよう。見つけたい本が一目でわかります。

・大きさを揃えて

大きさを揃えていろいろな本を、ただしまっただけでは、どうしてもごちゃごちゃしてしまいます。本は高さを揃えて、同じ高さの本をまとめて収納しましょう。

・色合いを揃えて

本棚は部屋のインテリアの一部です。同じ色合いの本をまとめて並べてみましょう。色のトーンがまとまっていると、見た目にも落ち着きます。

◆よく使うものを目の高さに

何度も取り出して読む本は、取り出しやすいように、目の高さの所に、あまり使わない本はそれ以外の場所に置きましょう。いるかいないか迷う本は、とりあえず一番下の段に置いて、定期的に見直し、いらぬようなら早めに処分しましょう。